

2019年度

キアラ・アンジェッラ(ソプラノ) シルヴィオ・ザノン(バリトン)両氏による声楽特別講義

1. 日 時 : 2019年4月23日(火) 15:15~18:30
2. 場 所 : K号館 603教室
3. 対象学生(必修): 大学院「オペラ研究AⅠ・AⅡ」・大学専攻科「オペラ研究」
大学「オペラ実習A」受講者 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : キアラ・アンジェッラ 氏
シルヴィオ・ザノン 氏

Chiara Angela /
Silvio Zanon

キアラ・アンジェッラ 氏
(Chiara Angela)



キアラ・アンジェッラ (ソプラノ歌手)

声楽・室内楽を大学で学び首席で卒業し、数々の国際的なコンクールで賞を勝ち取る。故ルチアーノ・パヴァロッティ氏のもとで研鑽。

若くして、フィレンツェ市立歌劇場にて歌劇『蝶々夫人』でタイトルロールとしてデビューして以来、イタリアのみならず世界の名高い劇場にて主役を務めるようになる。

フィレンツェ市立歌劇場では、『ラ・ボエーム』『ジャンニ・スキッキ』『トゥーランドット』『サルタン王物語』そして、ズービン・メータ氏が指揮した『運命の力』にも出演。他には、ミラノ・スカラ座の『戦争レクイエム』(ブリテン)、パレルモ・マッシモ劇場の『外套』(ブッチーニ)、ジェノヴァのカルロ・フェ

リーチェ劇場の『道化師』(レオンカヴァッロ)『運命の力』(ヴェルディ)、ボローニャ歌劇場の『戯れ言の饗宴』(ジョルダノ)、ヴェローナのフィラルモノコ劇場の『ラ・ボエーム』(ブッチーニ)、トッレ・デル・ラーゴのブッチーニ音楽祭の『外套』(ブッチーニ)などに出演。ヴェローナ野外劇場では、2014年シーズン開幕演奏会に出演し、イタリア放送協会RAI(ライ)で放送された。

イタリア国外では、スイスやフランス、ドイツ、ロシア、カナダ、南米、アメリカ合衆国、中国など、世界各国で活躍。

特にドイツ・ライプツィヒ歌劇場にて上演された、歌劇『アルセスト』(グルック)の王妃アルセスト役、そして世界各国で上演されたマスカーニ作曲の歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』のサントゥツァ役は絶賛され、イタリア国内のみならず、クラシック業界では世界的に評価の高いアーティストとして評される。

シルヴィオ・ザノン 氏は裏面

5. 講 義 概 要 :

【第4限】 15:15~16:45

乾 彩子(院2) V.Bellini 「I Puritani」 Qui la voce sua soave
岡田 彩菜(院2) G.Donizetti 「Anna Bolena」 Al dolce guidami

【第5限】 17:00~18:30

難波 孝(大4) V.Bellini 「I Puritani」 Or dove fuggo io mai?~
Ah per sempre io ti perdei
芳賀 健一(大4) G.Donizetti 「Don Pasquale」 Bella siccome un angelo

ピアノ 梁川 夏子(講師)・鎌田 史子(講師)

シルヴィオ・ザノン 氏
(Silvio Zanon)



シルヴィオ・ザノン (バリトン歌手)

世界各国の名高い劇場で、オペラの主役を務めるバリトン歌手。イタリア・ミラノのスカラ座を始め、モスクワのボリショイ劇場、ウィーン国立歌劇場、バルセロナ・リセウ大劇場、東京・Bunakmuraシアターコクーン、アテネ・メガロンなど他、数々の劇場にて活躍。

指揮者では、リッカルド・シャイー氏やブルーノ・バルトレッティ氏、ジャンアンドレア・ノセグ氏、演出家では、フランコ・ゼッフィレッリ氏、ルーカ・ロンコーニ氏、ベッペ・デ・トマーシ氏など、名の知れる音楽家たちと共演。

故ルチアーノ・パヴァロッティが、「歌はこうして歌うんだ」と生徒に直々に教える姿や、ゼッフィレッリ氏が、ノーベル賞を受賞したイタリアの神経学者リータ・レーヴィ=モンタルチーニ女史からも絶賛されたローマ歌劇場の『トスカ』第100回記念公演での取り組みを思い出し、直筆サインの入った額縁を飾り己を褒賞しようとした姿を知る者の一人である。

イタリア放送協会 RAI (ライ) や MEDIASET (メディアセット) のテレビ放送には、頻繁に出演する。司会者マウリッツィオ・コスタンツォ氏や、ジャーナリストのフランコ・ディ・マーレ氏、ジョージ・マルズッロ氏、女優ソニア・グレイ女史とも共演。2002年には、ロネ・シェルフイグ監督作品、映画『幸せになるためのイタリア語講座 (邦題) 』に出演。映画はベルリン国際映画祭銀熊賞を受賞。2010年には、音楽活動が評価され、世界的にも高名なサンタ・カテリーナ・ゴールド賞を、妻でありソプラノ歌手のキアラ・アンジェッラ女史と指揮者のジャンルイーギ・ジェルメッティ氏とともに受賞する。

新設劇場・アスタナ歌劇場 (カザフスタン) 開幕を祝して、インドにてレオンカヴァッロ作曲の『道化師』が上演され、主役カニオ役として出演。そして、ヴェネツィアのサン・マルコ寺院では初の試みとして、サンテ・ザノン作曲のオラトリオ『アッシジの聖フランチェスコ』が上演された際、第一バリトンの役として出演し、ヨハネスブルグ (南アフリカ共和国) とマリボル (スロベニア) を始めとする世界各国の大臣が鑑賞する中、イタリアとその国の文化をプレゼンテーションする機会に尽力する。

2009年以降は、世界各国でオペラ公演やマスタークラスなど、様々な音楽イベントを企画・運営するアカデミー団体 (プロジェクト・ヴォーチェ) によるマスタークラスに、ソプラノ歌手・アンジェッラ女史とともに、講師として参加。最近では、ロシア・サンクトペテルブルグ、モスクワ、バクー (アゼルバイジャン) や香港、イタリア・ポントレーモリ、タルソニョ、イエーゾロ、オデルツォ、ポンテ・ディ・ピアヴェ、ヴェローナなどに行き、若い世代の歌手たちにイタリアの誇り、ベルカント発声を学ぶ機会を与えるために日々活動している。